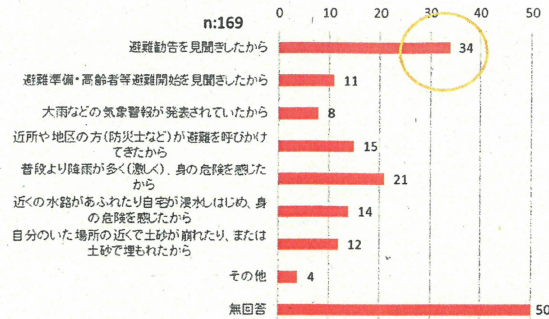


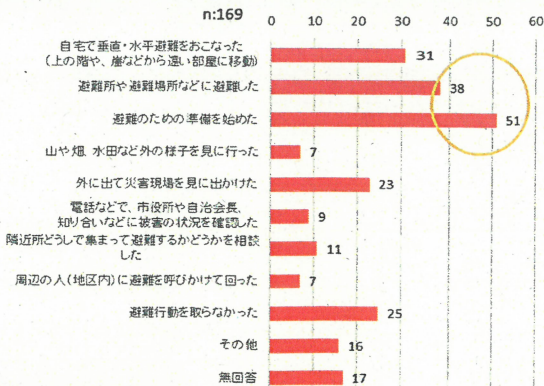
アンケート結果<避難を開始した理由等>

(参考)松山市

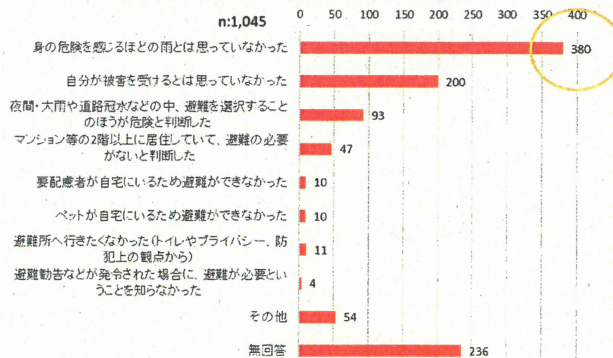
①避難を考えた理由



②避難を考えたあと、どのような行動を取ったか



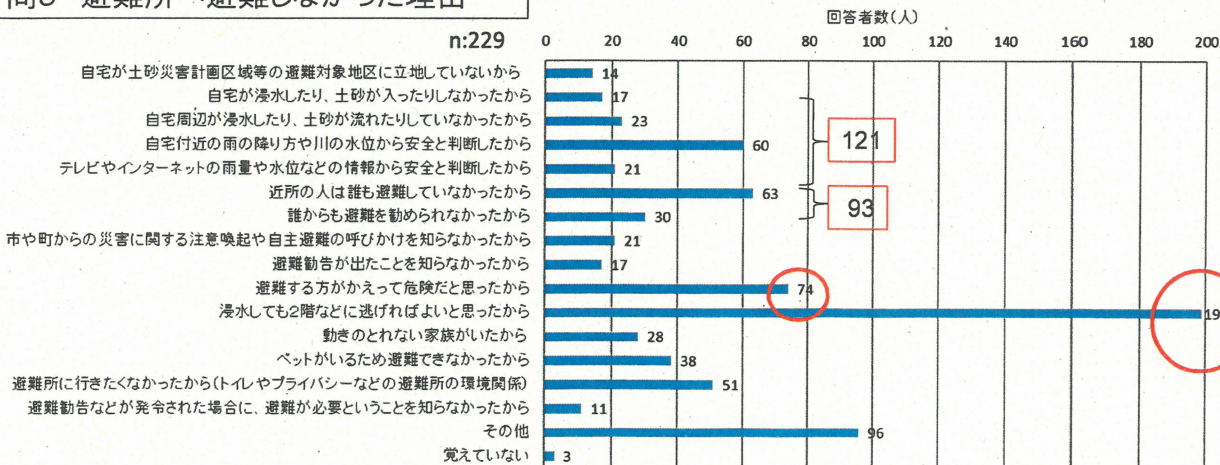
③避難することを考えなかった、避難行動を取らなかった理由



6

アンケート結果<避難を行わなかった理由>

問9 避難所へ避難しなかった理由



■「自宅の2階以上にいれば大丈夫」という理由が最も多い。次いで「避難する方がかえって危険だと感じたから」という理由が多くなっている。

➢ここまでの被害になることを想定していなかった方が多く、これまで水害等の被害が少なかったこともあり、水害等への危機意識が低かったことが伺える。

➢発生の時刻や雨の降り方などから避難することをリスクと考えた人が多かったと推測できる。

■「自宅周辺に危険がないと判断した」という理由や「近所の人(防災士など)は誰も避難していない」「避難を勧められなかったから」という理由も多くなっている。

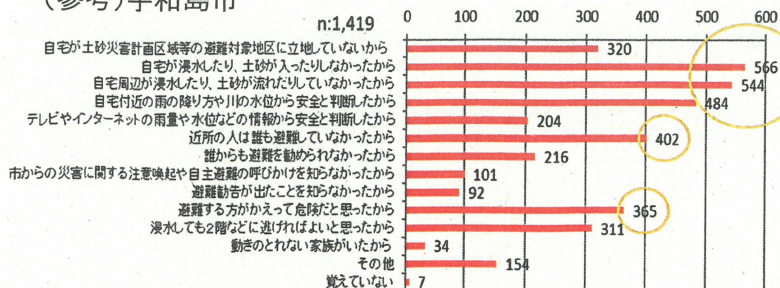
➢自宅周辺に危険が迫っていないと避難しない傾向が伺える。

➢地域の住民の避難行動や呼びかけが、避難のきっかけになると考えられる。

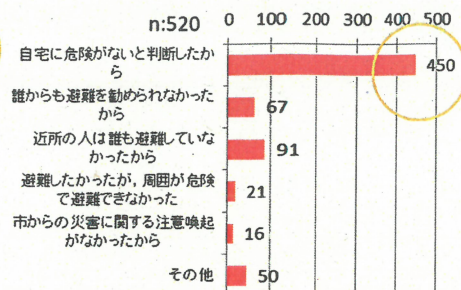
7

アンケート結果＜避難を行わなかった理由＞

(参考)宇和島市



(参考)西予市



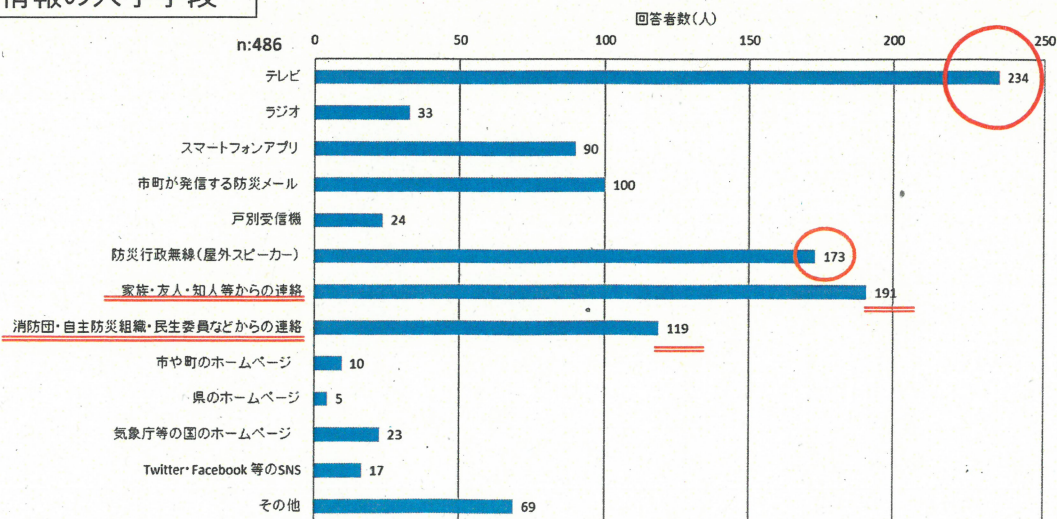
【市町毎の住民からの自由意見(抜粋)】

市町名	意見
今治市	・過去に避難勧告が出たことがなく、安全だと思った。 ・避難を勧められたが、車も水に浸かり、避難所に行く手段がなかった。
八幡浜市	・避難場所の方が、自宅よりも危険と判断したから。 ・防災行政無線による放送があったかどうかも雨音がひどく分からなかった。 ・住みはじめて30年間初めての出来事だったから。
大洲市	・ここまでの水害が起きるとは思わなかった。 ・周囲の浸水により避難できなかった。 ・問題ないと思っていたから、浸水してびっくりして2階へ避難した。
松野町	・水が来るのが急激で避難する時間がなく孤立した。 ・川の氾濫状態が緊急を要する事態と認識できていなかった。

8

アンケート結果＜情報の入手手段＞

問10 情報の入手手段



- 情報の入手手段としては「テレビ」が最多であった。
- 友人・知人からの連絡や消防団等からの連絡で情報を入手した方も多い。
- 行政が発する情報としては「防災行政無線(屋外スピーカー)」が最も使用された手段である。

➢住民側から主体的に情報を取りに行く必要があるインターネットサイト(HP等)の活用は少ないが、アプリや防災メール等の発信される情報についてはインターネットサイトに比べると活用されている。

9